



はたごのまちづくりだよ

機殿まちづくり協議会 会報

第 29 号

2017.10.1

発行:機殿まちづくり協議会 広報委員会

TEL:0598-59-0351

力を合わせて楽しい機殿

機殿まちづくり協議会:会長 澤村 茂

皆さまにおかれましては、日頃より「まちづくり協議会」の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年も7月22日に「納涼まつり」が盛大に行われました。花火もみなさんのご協力により打ち上げることができましたし、踊りも大変盛り上がりました。支えていただいたスタッフの方々、参加していただいた皆さまの「楽しもう」とするお気持ちが、年々、行事ごとに強くなつて現れてきているように感じられます。本当にありがたいことです。



「踊る阿呆に、見る阿呆、おなじ阿呆なら踊らにゃ損そん」と言います。人に楽しませてもらうのもいいですが、自分から積極的に参加していくと、もっと面白いということではないでしょうか。今は昔よりはずつとずっと裕福です。欲しいものは何でも食べれる時代です。この贅沢をもっと楽しみましょう。

皆さまのご協力のお陰で、機殿は楽しい行事を行えています。これからも、皆さまのお力で大いに盛り上げて頂きたくお願い申し上げます。



今年も開催! “はたどの祭り”

農業
振興部会

【農業振興部会長：横井 富夫】

昨年度の「はたどの祭り」の様子



農業振興部会は今年も「はたどの祭り」の音頭をとらせていただきます。開催は12月23日（土）を予定しています。

昨年はPRや内容の吟味等、準備不足により、祭りが終了したとき「こんなはずではなかった」と感じました。その悔しい気持ちをバネに、すでに松阪市の元気応援事業に応募し、無事採択されました。今年の公開プレゼンテーションでは、スポンサー賞も受賞しています。プレゼンテーションでもPRしてきましたが、このお祭りは「機殿の特性を捉えた事業」として実施します。

この祭りが成功するかどうかは住民の皆さん意識、ご協力にかかっています。

「我こそは機殿地区を盛り上げるぞ！」、「自然豊かで歴史的偉人も多い機殿を知ってもらいたい！」という方は、ぜひ実行委員に手を挙げてください。お待ちしています！ 何れにしても、まずは関心を持ってもらう事。これが一番大切な事だと思います。

はたどの祭り以外にも、11月にサツマイモ掘り、12月にはジャガイモ掘りのほか、「シフォンケーキといちご大福の調理教室」も行う予定です。

皆さん、ぜひ、この地域のことを今一度考えて、課題は前向きに捉えて解決し、機殿を盛り上げていきましょう！

水にまつわる施設を見学

【環境・エコ推進部会長：中川 一郎】

7月7日（金）に、豊原町の「第一水源地」と飯高町の「蓮ダム」の施設見学に行ってきました。参加者は32名。移動手段には市政バスを利用しました。

「第一水源地」では、くらしの中で水道水がどのように使われているのか、水道の大切さ等を学びました。解説していただいた職員さんの話ですと「櫛田川からの伏流水は、非常に水質も良く安心して利用してください」とのこと。また、一般家庭で一人が一日に使う水道水の量は平均で316リットルだそうです。水も大切な資源です。大切に使いましょう！



「蓮ダム」は着工から20年をかけ、平成3年9月完成した多目的ダムです。この日の気温（外気）は32度と暑かったのに対し、地下にある放流ゲート通路は12度しかなく肌寒さを感じました。施設見学では、洪水調節、流水の調節、水道水利用、水力発電などについて学びました。私たちの暮らしにも関係する櫛田川流域を安全に管理しているそうです。

減塩について学ぶ講座実施

【健康福祉部会長：中川 佳久】

7月8日（土）、「減塩」にまつわる健康講話を開催しました。

講師に、松阪市健康センターから管理栄養士を招き、食品に含まれる「塩分」についてお話を伺いました。普段、私たちが口にすることの多い食品（お菓子やカップ麺も含む）に含まれる塩分の量を解説していただき、身近な食品の意外な塩分量にどよめきが起こりました。ちなみに、アジの開きには「概ね1g」の塩分が含まれるそうです。対して、カップ麺（特にスープやソース類）の塩分量は「6グラム」を超えるこ



とも多く、血圧を気にされる方は注意が必要です。減塩は「1ヶ月単位で徐々に減らす」ことで舌の感覚を慣らしながら行うのがコツだそうです。また、ソースなどは「かける」よりも「つける」方が良いようです。適切な量を摂取して健康な体質を維持できるよう心がけましょう。

〈はたどのまちづくりだより〉

見て学ぶ防災研修 を実施します!

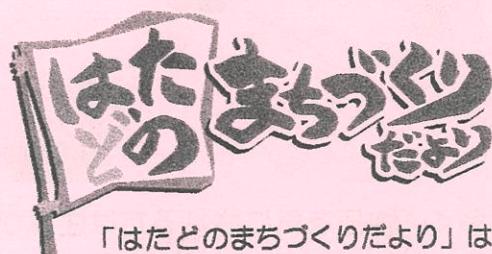
【安全部会部会長：笠井 和昭】

今年度の安全部会では、昨年度の研修・講演事業でお招きした、三重大学の川口准教授の講演内容をベースに事業を企画し、「防災訓練事業」と「研修事業」を共催として、「見て学ぶ防災研修」を行うこととしました。



テーマを「自分で行う防災」とし、櫛田川流域に住居を構える機殿地域として「水害」に絞った危険地帯の確認を「防災訓練」と「研修」の視点で行います。この事業は、松阪市防災訓練センターの協力を得て、11月5日（日）に実施します。防災は命に関わる「我が事」です。水害を未然に防ぐためにも、ぜひ多くの方にご参加いただき、危険箇所などのご意見をいただきますようお願いします。

10ヵ年計画で進行中の「防犯灯設置」は、予算減額などもありましたが、なんとか各地区公平に街路灯のLED化が可能な見込みとなりました。



に情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年3回程度発行していく予定です。（都合により変更する場合があります）

まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなどを添えてご提出いただけると助かります。

情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区市民センター内「広報編集委員会」まで。

TEL : 0598-59-0351

